事例No.	2562
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	株式会社　巡の環

事例区分	地域活性化

タグ	・人材確保・育成 ・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

株式会社　巡の環

出典

平成26年度ふるさとづくり大賞事例集

一般社団法人　南紀州交流公社　　和歌山県白浜町

概　　要



平成16年に農業協同組合、森林組合、漁業協同組合などの各種団体と農林水産業従事者などで「大好き日置川の会」を結成、平成23年4月に現法人に移行した。参加者が農林水産業のありのままの体験を通して理解を深める「ほんまもん体験」メニューの充実と、民泊の受入体制を整え、平成17年から小中高等学校の修学旅行の誘致活動等を開始し、交流人口の拡大に取り組んでいる。

評価された点



・地域にある自然を資源としてこだわり、交流人口を生み出す観光資源にまでつくりあげている。
・農林水産業の衰退で、過疎化・高齢化が進む中、地域のありのままの姿こそが観光資源になると発想を転換、地域の住民が同じ目標をもって民泊に取り組み、地域の1割が民泊を受け入れるに至っている。60種類もの体験メニューを準備するなど、創意工夫、新たな挑戦を続け、少子高齢化、過疎というマイナス面をプラスに変えていく地域力は高く評価される。
・地域資源を連動させ、交流人口を増加させた。経済波及効果も大きい。
・体験交流のプログラムの精度が高く、受け入れ体制もきめ細かく配慮されており、他地域の参考になる事例。

株式会社　巡の環　　島根県海士町

概　　要



人口減少・少子高齢化・財政難といった日本の課題先進地である一方、なりゆきの未来を変え、地方創生に積極的に取り組んでいる離島・海士町を舞台に、地域づくり事業・教育事業・メディア事業を柱として活動している。近年は大手企業などが参加して仕事力の元となる人間力を高める「海士五感塾」や他地域で活躍できる地域コーディネーターを養成する「めぐりカレッジ」に力を入れている。

評価された点



・海士町の活性化のために地に足のついた取り組みが評価できる。
・離島という地域でありながら、地域づくりに携わる人材を育てる人材育成産業を作る発想がユニーク。
・ハンディの大きい離島で、埋もれていた地域の資源を活かす形で次々と新しい事業を作り出している。教育事業においては、企画・運営をすべて自主的に行い、補助金を一切、使わずに黒字経営を続けている点、地域の魅力を引き出し、全国に伝え、島全体への経済効果をあげている点が高く評価される。
・補助金に頼らない地元資源型モデルとして成功している。
・地域づくりにおいては、地域内外のつながりを形成しくことが極めて重要である。そのためには、つなぐ役割を担うコーディネータが重要。このコーディネータ育成を通じての、地域イノベーションの実現に期待がもてる。